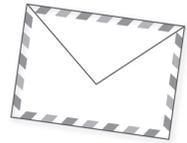




同窓会だより



第19期第1組 住民行政事務

平成17年度「住民行政事務」第19期第1組の第6回同窓会を、平成26年11月1日（土）に名古屋市にて開催しました。

野口茂教授を始め、各地から10名の懐かしい面々にお集まりいただきました。当日は生憎の雨模様のうえ、街路樹が色つき始めるほど肌寒い日となりましたが、気の知れた仲間との再会には、そんな悪天候を忘れさせるほどの喜びがありました。

中区栄にある「那古や正」にて開催された同窓会は、教授の挨拶、長崎県島原市峯友さんの乾杯の発声にて始まり、ご当地名物の手羽先の唐揚げや名古屋コーチンのたたき、味噌串カツ等に舌鼓を打ちながら歓談・近況報告し、長崎県大村市の喜々津さんの中締めまであつと言う間に過ぎてしまいました。手土産として用意した、えび煎餅「ゆかり」、寿がきやラーメン、大須いろいろ、「千なり」などの名古屋名物も、大いに喜んでいただけました。

参加者の中には、熱田神宮や本丸御殿の一部が復元された名古屋城、世界最大のプラネタリウムとしてギネスレコードを持つ名古屋科学館を訪れた方や、名物の「ひつまぶし」や「手羽先の有名店」などに足を運ばれた方もみえ、思い思いに名古屋の街を満喫していただけたように思います。



早いもので、研修での出会いから、来年10周年という節目を迎えるにあたり、次回同窓会は原点回帰の意味から関東にて開催されることが決まりました。当時、住民異動や戸籍関係の部署に配属されていた面々は、その後異動されたり退職されたりとさまざまです。しかし、わずか8日間の研修でも、クラスメイトが築き上げてきた公私におけるネットワークは、不変で揺るぎないものとなっています。

この原稿を書きながら、アカデミーで培ったのはただ業務上のスキルだけにとどまらず、何物にも代えがたい「人の繋がり」であったと、感謝の思いを新たにしています。

愛知県刈谷市 山中 裕三

第27期第1組 児童虐待防止

第27期第1組「児童虐待防止」の記念すべき第1回同窓会が平成27年1月31日に東京都品川にて行われました。

遡ること約1年前、児童虐待の現状や防止策、関係機関との連携について学び、日夜議論を重ねた全国から集いし54名の仲間たち。重いテーマではありましたが、職場では打ち明けられない苦悩を共有し合える素敵な出会いとなりました。緊張した面持ちでアカデミーの玄関に足を踏み入れた私も、最終日は親睦を深めた仲間たち



との別れが惜しかったことを懐かしく思い浮かべます。

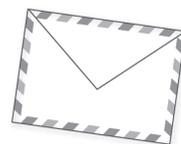
研修中も皆さんが楽しく過ごせるように常に細やかに気を配って下さった代表幹事の山内靖之さん（いの町）が、研修終了後からずっとこの日のために段取りをして下さいました。山内さんの他には、上野由美子さん（桜川市）、湯原和幸さん（阿見町）、大塚佳菜さん（草加市）、原敬子さん（八潮市）、岸裕希さん（鎌ヶ谷市）、大庭昌実さん（藤沢市）、小嶋宏美さん（みよし市）、林川浩二さん（鹿児島市）、武田直人さん（総務省）、渡邊佳美（裾野市）の11名の同窓生が参加しました。また、アカデミーから藤山和子副主幹と沼尾朝子主事も参加して下さいました。宴会では研修当時のこと、職場での苦労、家庭の話題、私生活での近況報告など大いに盛り上がり、研修時と同じく楽しい時間を過ごすことができました。またも別れが惜しく、最終の新幹線に乗るために駅に向かった私に手を振り続けて下さった皆さんの笑顔は忘れられません。

せっかく出会えた全国の仲間たち。異動などで業務は変わっても、この絆を大切にしていきたいと思います。今回残念ながら参加できなかった方の中には「是非わが町で同窓会を！」と手を挙げて下さった方もいたそうです。いつの日か再会できることを願っています。

静岡県裾野市 渡邊 佳美



同窓会だより



第27期第1組 政策企画

台風8号のプレッシャーに負け、無念ながら同窓会延期の決断をした昨年7月から早7か月。仕切り直しとなった平成25年度「政策企画」研修(第27期第1組)の記念すべき第1回同窓会を平成27年2月7日(土)に東京神田の全国うまいもの交流サロン「なみへい」で開催しました。

研修生14名の他、お世話になった浅野教授、事務局の沼尾さん、そして超売れっ子芸能人並みに全国を飛び回



る恩師の牧瀬稔先生にも参加していただき総勢17名で開宴。まず、幹事長の私と牧瀬先生で画策した政策企画研修のチーム名を決める投票を行いました。投票の結果、研修名+先生の名前+研修生の数、そして研修生の絆を深めたアカデミーのラジオ体操から「SKM42〜幕張体操第一〜」に決定。牧瀬先生からいただいた日本酒のラベルにチーム名を入れ盛大に乾杯! 研修の裏話、ゆうあいラウンジの夜、近況報告などに花が咲き、研修最終日前日の懇親会で好評だった恒例の「〇×クイズ」、牧瀬先生プロデュース「じゃんけん大会」などお楽しみ企画も一杯で盛り上がりは常にマックス。夢のような楽しい2時間はあつと言う間にクライマックスを迎えました。

二日酔いと同窓会の余韻が醒めぬ翌日、次回の同窓会を楽しみにしながら、こう思いました。「研修の思い出、幕張の熱い(暑い)9日間を共に過ごしたSKM42の仲間、牧瀬先生、事務局の皆さんとの絆は一生のもの。SKM42の同窓会を毎年続けていきたい。」

最後に同窓会参加者の皆さん、浅野教授、沼尾さん、牧瀬先生、そして私をサポートしてくれた小川さん、稲井さん、本当にありがとうございました!

千葉県南房総市 真田 英明

第28期第1組 住民と行政の協働

アカデミーで受けた講義を我が町で

市町村アカデミーでは、著名な講師の講義を受けることができ、まさにぎゅっと詰まった1週間を過ごしました。中でも私たちにとって特に衝撃的であったのは、高崎経済大学の櫻井常矢教授の講義でした。私たちH班は櫻井先生の講義ノートを何度も見直しながら課題演習で論議し、発表を行ったのをよく覚えています。

あの講義を私の町で、他の職員にも聞かせたい、その思いは、皆同じだったようで、ついに、櫻井先生による職員研修を逗子市で実施することになったのを機に、日本全国から逗子市視察を兼ねて研修仲間が訪ねてきてくれました。

逗子市に櫻井先生が来ることを知らせた際、一番に、「行きます。研修を受けさせてください」と申し出たのは、班のメンバーの中でも一番遠い、愛媛県新居浜市の清家さん。彼女の情熱にびっくりし、それならばと幹事を自ら引き受け、連絡から宿泊まですべて手配して下さったのは、茨城県常総市の渡邊さんでした。そしてあれよあれよという間に愛知県半田市鈴木さん、新潟県長岡市安達さん、千葉県佐倉市尾形さんとH班が全員集合していました。

どうせならと、近隣の同期、神奈川県横須賀市川瀬さん、千葉県柏市山下さん、地域活性化センター長門さんや、お世話になった市町村アカデミーの担当教授の寺澤さん(川



崎市より出向)にも声をかけ、懇親会も開催。横浜、鎌倉観光と逗子市行政視察、懇親会に櫻

井先生の研修まで、盛りだくさんの2日間を過ごしました。櫻井先生の研修の中で、「ときどきは他の市町村の話聞いて情報交換してください。自分たちのまちが当たり前ではないということがわかります。」というお話があり、人の縁とつながりの大切さを実感しました。市民協働の仕事は人づきあいもその一つ、出会いと仲間を大切にしていきたいと思います。

神奈川県逗子市 川嶋 名津子